

新型コロナウイルス感染症に対応するための海匝保健所の取組について

健康生活支援課

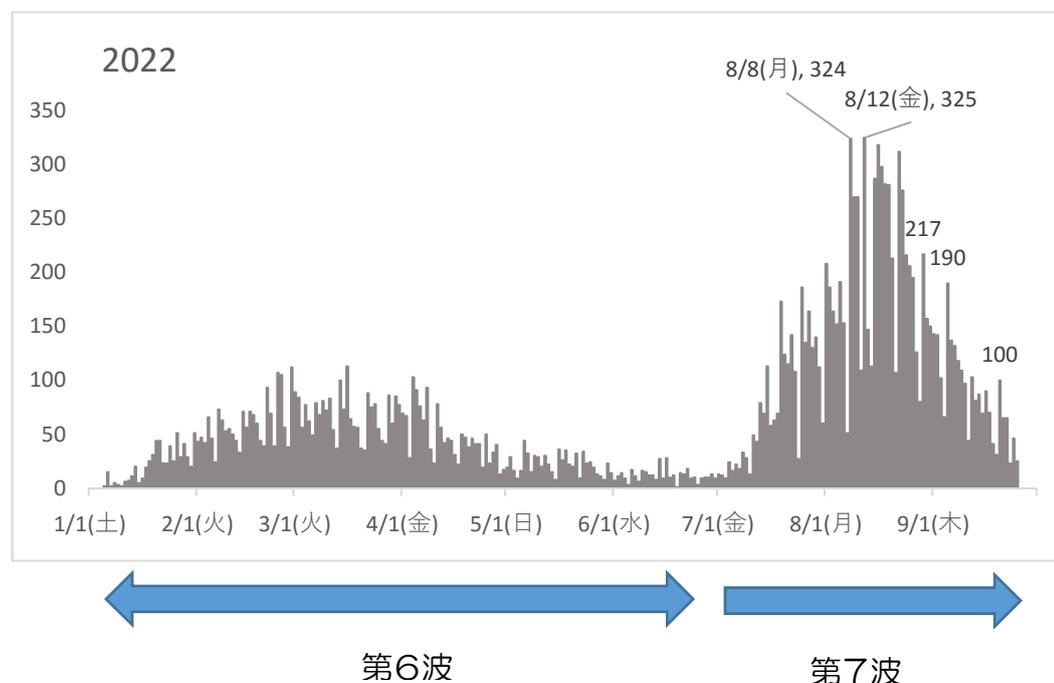
2021年末頃から、世界の多くの地域でオミクロン株によるこれまでにない規模の流行が起こった。日本国内でも、第6波、7波と急速に感染拡大が起こり、当所管内においても令和4年8月には、新規患者数が300人を超える日もあり、自宅療養者が2000人を超える状況となり、保健所業務の負担軽減のために、県応援職員や人材派遣会社からの派遣、FUC(※)への健康観察依頼や療養証明書発行等の業務委託が実施された。

また、ワクチンの普及やオミクロン株の特性を踏まえ、全国的に、重症化リスクの高い陽性者対応に注力できるような体制に変化していったが、高齢者入所施設等ハイリスク施設におけるクラスター発生の頻発や自宅療養者の増加といった課題が出てきた。これら課題に対応すべく、地域全体で情報共有や円滑な対策が図られるように、以下に示す情報発信や連携に取り組んだ。

※FUC（千葉県自宅療養者フォローアップセンター）とは、

千葉県が設置する、自宅療養者の健康観察や受診調整、入院調整等の業務を委託業者が行う体制

海匝地域の新型コロナウイルス感染症患者発生状況



(1) 入所施設等職員向け講習会

【目的】

高齢者・障害者入所施設等職員に対し、新型コロナウイルス感染症第7波に備えて、入所施設でのクラスター発生の未然防止及び発生した場合に感染拡大を抑えながら業務が継続できるように、オミクロン株の特性についての知識を深め、施設内で患者が発生した場合の初動対応や意識向上を図ることを目的に開催した。また、対象施設の地域ネットワークへの参加にもつなげ、長いスパンで資質向上をめざすものである。

【概要】

対象者 高齢者入所施設、障害者入所施設等事業所職員

開催日時 令和4年7月28日（木）

開催場所 国保旭中央病院 本館会議室

参加人数 30施設89名参加（オンデマンド配信での参加者を含む）

開催方法 Zoomによるリモート開催と期間限定オンデマンド配信

【内容】

- ① 健康生活支援課から、「新型コロナウイルス感染症集団発生の対応について」感染者発生時の初動時の留意事項説明と保健所への一報を促し、今後の連携・協力体制について案内した。
- ② 国保旭中央病院中村医師による「管内入所施設職員を対象とした第7波へ向けた施設のコロナ対応及びオミクロン株におけるクラスター対策について」の講演

(2) 旭中央病院主催の新型コロナウイルス感染症に関する連携会議に参加

【目的】

最新情報や管内の発生状況等を情報共有し、地域全体でのコロナ対応を推進することを目的とする。

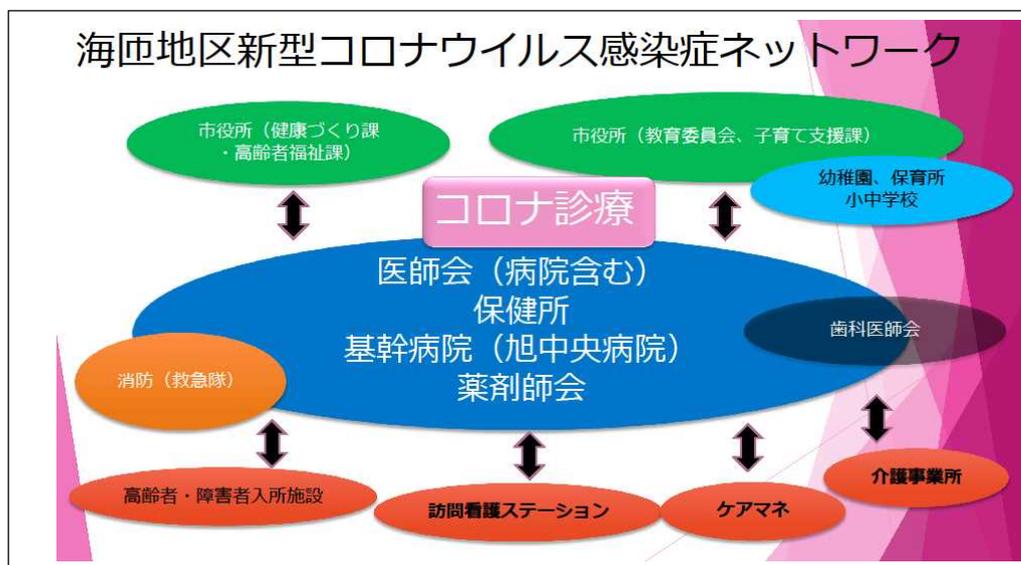
【概要】

昨年度からの地域ネットワーク（管内医師会、感染症指定医療機関、訪問看護ステーション、介護事業所、管内市役所等）に、(1)で参加した事業所及びその関連機関、教育委員会、乳幼児・児童施設が加わった「海匠地域新型コロナウイルス感染症ネットワーク」向けに旭中央病院が主催する連携会議に参加した。

【実績】

8月12日から計8回開催された中で、各回約150名参加。(隔週で開催)

保健所からは、管内新規患者発生状況、クラスター対策、患者療養期間の見直し、発生届出対象の見直し等の説明をした。



旭中央病院連携会議資料より抜粋

(3) 自宅療養者の災害時対応について

【目的】

新型コロナウイルス感染症の流行下において、災害が発生した場合、自宅療養者が適切に避難することができ、必要な支援が受けられるよう、発災時の避難対応における市及び保健所それぞれの役割を明確にし、円滑な連携と対応を目指す。

【概要】

令和3年度、管内3市の防災担当、健康管理担当者と「自宅療養者の災害時受入体制検討会」を開催し、新型コロナウイルス感染症自宅療養者（以下、自宅療養者）の避難所における対応について情報交換を行った。検討会実施後、市毎に調整を行い、各市1か所避難所を設定し、具体的なゾーニング方法、感染対策、情報提供の方法などを確認した。

匝瑳市においては9月25日に市防災訓練において自宅療養者の避難所の設営訓練を実施予定していたが、台風接近により中止となった。中止となったものの、具体的な避難を想定し、市と保健所の役割についてお互いに確認する機会となった。

【今後の方針】

令和4年9月26日に発生届の全数届出が見直されたことに伴い、保健所において自宅療養者の全数把握は困難となった。今後、避難が必要となる自宅療養者への情報提供の方法を3市と確認していく予定である。

(4) 週報「管内新型コロナウイルス感染症患者の発生状況」の作成、情報発信

【目的】

管内関係機関に直近1週間の新規患者発生数等を発信し、発生動向の共有と注意喚起を促すとともに、関連資料（国通知や感染対策等）について情報提供を行い、感染拡大防止へ向けた住民への呼びかけや患者支援への協力を促した。

【実績】

9月25日までに第24報（現在休止中）作成し、毎週メール配信した。

送付先：管内3市、管内医師会、管内医療機関・診療所、訪問看護ステーション、消防本部

報告期間	累計発生数	発生状況
17報(令和4年8月1日(日)～8月7日(日))	1,009名	新規発生数 10名
16報(令和4年7月25日(日)～8月1日(日))	999名	新規発生数 10名
15報(令和4年7月18日(日)～7月25日(日))	989名	新規発生数 10名
14報(令和4年7月11日(日)～7月18日(日))	979名	新規発生数 10名
13報(令和4年7月4日(日)～7月11日(日))	969名	新規発生数 10名
12報(令和4年6月27日(日)～7月4日(日))	959名	新規発生数 10名
11報(令和4年6月20日(日)～6月27日(日))	949名	新規発生数 10名
10報(令和4年6月13日(日)～6月20日(日))	939名	新規発生数 10名
9報(令和4年6月6日(日)～6月13日(日))	929名	新規発生数 10名
8報(令和4年5月30日(日)～6月6日(日))	919名	新規発生数 10名
7報(令和4年5月23日(日)～5月30日(日))	909名	新規発生数 10名
6報(令和4年5月16日(日)～5月23日(日))	899名	新規発生数 10名
5報(令和4年5月9日(日)～5月16日(日))	889名	新規発生数 10名
4報(令和4年5月2日(日)～5月9日(日))	879名	新規発生数 10名
3報(令和4年4月25日(日)～5月2日(日))	869名	新規発生数 10名
2報(令和4年4月18日(日)～4月25日(日))	859名	新規発生数 10名
1報(令和4年4月11日(日)～4月18日(日))	849名	新規発生数 10名

(5) 施設へのクラスター介入

【目的】

高齢者入所施設等での発生時の感染拡大防止に係る助言・指導を行い、業務継続、サービスの継続につなげる。また、県クラスター対策班からの感染症部門医師・看護師派遣を依頼し、より専門的な視点からの感染対策指導と併せて、コロナ治療薬の処方、症状悪化時の円滑な入院へつなげる。

【内容】

現場に出向き、陽性者発生状況の確認や検査実施状況、感染対策の現状把握等のミーティング後、施設内ラウンドを行い、ゾーニングや个人防护具の着脱方法についてのアドバイス、入所者・職員の感染対策等を随時助言した。また、検査体制が不十分である施設については、保健所でPCR検査を実施した。

このほか、随時、施設内で陽性者が発生した場合、施設側から報告をもらう体制をと

り、電話で助言・指導した。

【10月12日現在の現場指導の実績】（ ）内は延べ回数

施設種別	保健所介入回数	クラスター対策班介入回数
高齢者入所施設	11 (13)	7 (9)
障害者施設	5 (6)	3 (3)
医療機関	3 (3)	2 (2)
計	19 (22)	12 (14)